

CyberLink DVD Suite 5

User's Guide



使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement（'EULA'）の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたくお願いいたします。

End User License Agreement（EULA）：使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとしします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとしします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リパス・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などとはできないものとしします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとしします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとしします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に

読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーストックに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーストックによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の著作権は本ソフトウェアの著作権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーストックは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーストックは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

目次

はじめに	1
CyberLink DVD Suite の機能	2
PowerStarter プログラム	2
メニューアイコン	3
機能 / プログラムアイコン	5
クイックアクセスボタン	5
バージョン表	8
システム条件	10
ムービープレーヤー	13
ムービーの視聴	14
再生コントロール	14
メインコントロール	14
再生中のナビゲート機能	15
DVD やその他のメディアの再生	15
ドラッグ & ドロップによる再生	16
ハードディスクの DVD ファイルの再生	16
設定	16
データ	19
データディスクの書き込み	20
ブータブルデータディスクのイメージファイルからの 書き込み	21
ブータブルデータディスクのフロッピーディスクから の書き込み	22
ディスクのフォーマット	24
ディスクのフォーマット	24
InstantBurn の使用	25

音楽	27
音楽ディスクの作成	28
音楽ディスクの書き込み	28
音楽のリッピング	30
ムービーディスクの作成と編集	33
ムービーディスクの作成	34
ディスク形式の選択	34
メディアのキャプチャ / 読み込み	34
ディスクのメニューページのカスタマイズ	36
書き込みの設定	37
ビデオ編集	39
使用できる編集オプション	39
Magic ツールの使用	40
効果の追加	41
ムービーの制作	41
静止画編集	43
スライドショーの作成	45
DVD フォルダの書き込み	46
コピー & バックアップ	47
データディスクのコピー	48
ムービー DVD のコピー	49
データのバックアップとリストア	51
データのバックアップ	51
データのリストア	54
ユーティリティ	57
ディスクからのイメージ作成	58
ディスクイメージからの書き込み	59

ディスクの消去	60
ラベルを印刷する	61
ステップ 1 - ラベルの種類を選択	61
ステップ 2 - ラベルテキストの編集	62
ステップ 3 - レイアウトなどの編集	62
ステップ 4 - 印刷の確認 / 実行	62
テクニカルサポート	63
Web サイトによるサポート	64
索引.....	65

第 1 章：

はじめに

CyberLink DVD Suiteはデジタルエンターテイメントをコンピュータで楽しむためのマルチメディアセットです。このパッケージにはたくさんのCyberLink 製品が組み込まれており、DVD の視聴や作成を存分にお楽しみいただけます。

CyberLink DVD Suite を使用すると、次のことを行えます。

- 世界一の DVD プレイヤーでムービーを楽しむ
- 音楽、ムービー、データを DVD や CD に書き込む
- 音楽 CD をリッピングする
- 動画メニュー付きの DVD ムービーやスライドショーを作成する
- 魔法の編集ツールでビデオや写真を編集する
- データのバックアップとリストアを行う
- ディスクラベルを作成して印刷する
- 便利なディスクツールを使用する（ディスクの消去や作成、ディスクイメージの書き込み）
- データをフロッピーなどのリムーバブルメディアに書き込む時のように、ディスクにもドラッグ&ドロップできる

CyberLink DVD Suite の機能

CyberLink DVD Suite の機能はすべて、CyberLink PowerStarter プログラムからアクセスできます。CyberLink PowerStarter を使用すると、CyberLink の多様なホームエンターテイメントソフトウェアに簡単にアクセスでき、さまざまな作業を行ったり、メディアファイルを管理したり、ムービーを作成してディスクに整理したり、ディスクに書き込んだりできます。

PowerStarter プログラム

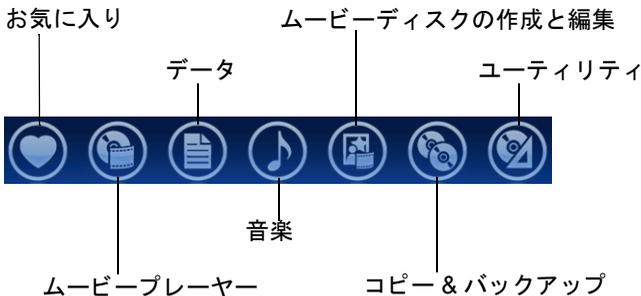
CyberLink PowerStarter には次のものが表示されます。



CyberLink PowerStarter プログラムには実際の作業に即した使い方ができる良くまとまったインターフェイスが用意されており、必要な CyberLink プログラムを起動したり、CyberLink DVD Suite をアップグレードしたりできます。

メニューアイコン

使用するメディアの種類や作業内容に対応したメニューアイコンをクリックします。



この部分は、CyberLink PowerStarter からアクセスできる機能を表しています。

お気に入り



お気に入りメニューを使用すると、よく使う機能やプログラムを登録して、よりアクセスしやすくなります。デフォルトでは、このウィンドウには何もありません。

お気に入りメニューに機能やプログラムを登録するには、適切なメニューアイコンをクリックして対象の機能やプログラムを表示します。対象のアイコンを右クリックして、**【お気に入りに追加】**を選択します。

お気に入りメニューの機能やプログラムを削除するには、対象のアイコンを右クリックして、**【お気に入りから削除】**を選択します。

ムービープレーヤー



ムービープレーヤーメニューには、優れたナビゲーションコントロールによりニーズに応じたインタラクティブな視聴をお楽しみいただけるムービー再生機能が用意されています。

データ



データメニューには、データファイルをディスクに書き込む機能が用意されています。また、ブータブルディスクを作成したり、CyberLink InstantBurn でディスクをフォーマットしてディスクにドラッグ&ドロップ書き込みができるようにしたりできます。

音楽



音楽メニューには、オーディオファイルをディスクに書き込んだり、さまざまな形式に変換したりする機能が用意されています。また、音楽 CD をハードディスクにリッピングすることもできます。

ムービーディスクの作成と編集



ムービーディスクの作成と編集メニューには次の機能が用意されています。

- ビデオや写真のディスクへの書き込み
- ビデオや写真ソースファイルの編集
- BGM 付きのスライドショーの作成
- メディアファイルの整理とディスクへの書き込み

コピー & バックアップ



コピー & バックアップメニューには、ディスクや DVD ムービーのコピー機能が用意されています。さらに、大切なデータをすべてバックアップし、必要に応じてリストアすることもできます。

ユーティリティ



ユーティリティメニューには、ディスク管理機能が用意されています。たとえば、ディスクイメージの作成と書き込み、ディスクコンテンツの削除、ディスクラベルの作成と印刷などです。

注: アイテムが増えすぎて CyberLink PowerStarter のスペースがいっぱいになってしまったら、  ボタンを使用して左右にスクロールできます。

機能 / プログラムアイコン

使用できる機能やプログラムを見るには、メニューアイコンをクリックします。機能を使うには、表示されたアイコンをクリックします。あるいは、対応するプログラムを起動してもかまいません。

対象のアイコンを右クリックして、**【実行】**を選択する方法もあります。

クイックアクセスボタン

プログラムの右下にある3つのクイックアクセスボタンを使用すると、**【設定】** ウィンドウ、**【アップグレード】** ウィンドウ、**【CyberLink 製品】** ウィンドウを開くことができます。各ウィンドウについては、次の項で説明します。



設定ウィンドウ

CyberLink PowerStarter の動作を設定するには、**【設定】** ボタンをクリックし、対象の設定を選択します。

- **プログラム終了後、PowerStarter を起動する**
:CyberLink PowerStarter インターフェイスを経由して開いていたプログラムの終了後、CyberLink PowerStarter に戻ります。
- **最新のバージョンを自動的にチェックする** : インストールしているソフトウェアの最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。新しいバージョンは、アップグレードウィンドウに赤いアイコンで示されます。
- **製品情報を取得する** : アップグレードページに表示するバナーや広告の表示と非表示を切り替えます。

アップグレードウィンドウ

コンピュータにインストールされている CyberLink 製品のバージョン情報を確認するには、をクリックします。

コンピュータにインストールされている CyberLink 製品が一覧表示され、バージョン番号、アップグレードやパッチの有無を示すアイコンも表示されます。

最新のバージョンを表示する

PowerStarter で最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。

をクリックすると、手作業でこの情報を更新できます。

PowerStarter によりコンピュータがチェックされ、使用できる CyberLink 製品の最新のバージョン番号が表示されます。

アップグレードをチェックする

パッチやアップグレードがある場合、製品の横にある対応するボタンが有効化されます。アイコンをクリックすると、その製品の最新のソフトウェアパッチをダウンロードするページが表示されます。また、アイコンをクリックして、その製品をアップグレードすることもできます。

現在使用可能なアップデートすべてをみるには、をクリックして CyberLink の Web サイトにアクセスしてください。

CyberLink 製品ウィンドウ

CyberLink 製品すべてをみるには、をクリックします。アイコンをクリックすると、対応するプログラムが開きます。CyberLink 製品は、コンピュータをホームデジタルエンターテイメントセンターに変えるためのソリューションです。

注: CyberLink PowerStarter に含まれるプログラムは、購入された製品のバージョンによって異なります。詳しくは、8 ページの「バージョン表」を参照してください。

バージョン表

次の表に、Cyberlink DVD Suite 5.0 のさまざまなバージョンの違いをまとめます。

製品	CDS 5.0	CDS 5.0 Pro
PowerDVD	6.0 Express	6.0 Express
PowerDirector	-	5.0 Express
PowerProducer	3.7 (Dolby なし)	3.7 フル機能バージョン
Medi@Show	3.0 フル機能バージョン	3.0 フル機能バージョン
Power2Go	5.5 (Dolby および MP3 サポートなし)	5.5 (Dolby および MP3 サポートあり)
PowerBackup	2.5 Express	2.5 フル機能バージョン
Instant Burn	5.0 フル機能バージョン	5.0 フル機能バージョン
PowerDVD Copy	1.0 フル機能バージョン	1.0 フル機能バージョン
LabelPrint	2.0 フル機能バージョン	2.0 フル機能バージョン
PowerStarter	2.0	2.0
iTunes	iTunes 6.0	iTunes 6.0

注: ご利用の CyberLink DVD Suite のバージョンによっては、一部の機能やプログラムが使用できない場合があります。特定の製品で提供されている機能に関する情報は、製品の **Readme** またはヘルプファイルを参照してください。

システム条件

次に、このプログラムを使用する際に推奨する最小限のシステム要件を記載します。使用するシステムがこの要件を満たしていても、一部の作業を行うためにはシステムの拡張が必要になる場合があります。

最小限のシステム要件	
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP/2000
画面解像度	<ul style="list-style-type: none"> 1024 X 768 ピクセル、16-bit カラー
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 256MB RAM (512MB 推奨)
CPU	<ul style="list-style-type: none"> Intel Pentium 4 2.2 GHz 以上 AMD Athlon 2500+ 以上
ハードディスク容量	<ul style="list-style-type: none"> VCD/SVCD/MiniDVD には 1 GB (3 GB 推奨) DVD には 10 GB (15 GB 推奨)
DV	<ul style="list-style-type: none"> OHCI IEEE 1394 対応デバイス
ビデオキャプチャデバイス	<ul style="list-style-type: none"> アナログビデオキャプチャ :WDM 規格に準拠した USB または PCI キャプチャデバイス DV カメラビデオキャプチャ :OHCI 規格に準拠した IEEE 1394 入出力デバイス デジタル静止画カメラ画像インポート :USB インターフェイス
書き込みデバイス	<ul style="list-style-type: none"> CD 書き込み用には CD-R/CD-RW ドライブ VCD/DVD/SVCD/MiniDVD タイトルの書き込み用には DVD+R/RW または DVD-R/RW 対応 DVD ドライブ

最小限のシステム要件

マイクロ フォン

- ナレーションを録音するには、マイクロフォンが必要です。

第 2 章：

ムービープレイヤー

CyberLink DVD Suite からは、DVD プレーヤー専用機と同じ機能や操作感を備えたソフトウェア DVD プレーヤーである CyberLink PowerDVD にアクセスできます。この製品に組み込まれている優れたナビゲーションコントロールにより、ニーズに応じたインタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。



注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ムービーの視聴

ムービーを見るには、DVD をドライブにセットするか、CyberLink PowerStarter ウィンドウで【ムービーの再生】をクリックします。

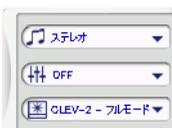
CyberLink PowerDVD の高度なビデオおよび音声技術により、PC における視聴としては最も高品質なムービーをお楽しみいただけます。

再生コントロール

CyberLink PowerDVD を初めて起動すると、次のような画面が表示されます。



環境パネル (下図、 をクリックして開く) では、音声出力モード、イコライザーの事前設定、映像調整を選択できます。



機能パネル (下図、 をクリックして開く) も用意されています。



メインコントロール

CyberLink PowerDVD に組み込まれている優れたナビゲーションコントロールにより、ニーズに応じたインタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。たとえば、次のような機能があります。

-  お気に入りのシーンをキャプチャする
-  ムービーをフルスクリーンで見る
-  音声チャンネルを切り替える
-  字幕を表示する
-  CyberLink PowerDVD を設定する
-  DVD メニューに戻る

再生中のナビゲート機能

特定のチャプタを飛ばしたり気に入ったシーンに戻ったりするため、CyberLink PowerDVD には簡単なナビゲーション操作が用意されています。

- ジャンプ機能 - **【 次のチャプタ 】**  および **【 前のチャプタ 】** 
- 早送りと巻戻し - 速度 :0.5 倍、0.75 倍、1 倍、1.5 倍、2 倍、3 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍
- コマ送り機能 - **【 コマ送り 】**  または **【 コマ戻し 】** 
- タイムサーチ
- お気に入りのシーンをブックマーク

DVD やその他のメディアの再生

CyberLink PowerDVD では、DVD のほか、さまざまな形式のいろいろなメディアを再生できます。たとえば、次のメディアを使用できます。

- DVD VR ディスク
- VCD、SVCD
- オーディオ CD
- DVD フォルダとビデオファイル

ドラッグ & ドロップによる再生

ファイルを再生する最も簡単な方法は、ファイルを CyberLink PowerDVD ユーザーインターフェイスにドラッグ & ドロップすることです。この操作を行うと、すぐに再生が始まります。CyberLink PowerDVD でサポートされているメディアファイルタイプやプレイリスト形式 (.m3u と .pls) であれば、この操作を行えます。

ハードディスクの DVD ファイルの再生

CyberLink PowerDVD では、ハードディスクに作成した DVD フォルダのファイルを再生できますので、DVD ディスクに書き込む前にハードディスクでファイルをプレビューして試みるのが可能です。この操作は、ビデオソースを指定し、ビデオを保存してあるフォルダを選択するだけで行えます。

設定



CyberLink PowerDVD は、ニーズに合わせて再生設定を変更できます。

プレーヤーの設定

[全般] タブでは、次の設定を行えます。

- デフォルトのドライブを設定する。
- ディスクがセットされたら自動的に再生するように CyberLink PowerDVD を設定する。

- Windows 起動時に PowerDVD を自動的に起動するように設定する。
- CyberLink PowerDVD で特定の機能をカーソルでポイントした際に、ポップアップを表示するように設定する。
- DVD+VR 再生を有効にする。
- ソフトウェアのアップデートを自動的に確認する。
- レジューム設定機能を有効化する。

操作パネルの設定

この設定により、PowerDVD の外観を変更できます。

映像の設定

次の機能を使用してビデオ再生オプションの設定を行えます。

- **[再生支援機能 (DxVA) を使用する]** を有効化して、IDCT および動き補償をアクティブにする。このオプションを有効にすると、使用できなくなる機能があります。
- **[フルスクリーンで再生する]** を有効化して、再生時にデフォルトでモニタの最大画面領域を使用する。
- **[再生画面を、常に手前に表示する]** を選択して、CyberLink PowerDVD ビデオを最前面のアプリケーションとする。
- CyberLink 独自の映像技術 **[CLEV-2 (CyberLink Eagle Vision 2)]** を選択して、ビデオコンテンツを検知し、輝度、コントラスト、サチュレーションを動的に調整する。これにより、非常に暗いシーンからとても明るいシーンまで幅広い映像を持つムービーを再生する際にも、色の設定を変更する必要はなくなります。
- **[カラープロファイルを使用する]** を選択する。
- さらに詳細な映像設定を行うには、**[アドバンス設定]** をクリックする。アドバンス設定に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

音声出力の設定

次の機能を使用してオーディオ再生オプションの設定を行えます。

- **【スピーカー選択】** ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- **【サラウンド選択】** ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- さらに詳細な音声出力設定を行うには、**【アドバンス設定】** をクリックします。アドバンス設定に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

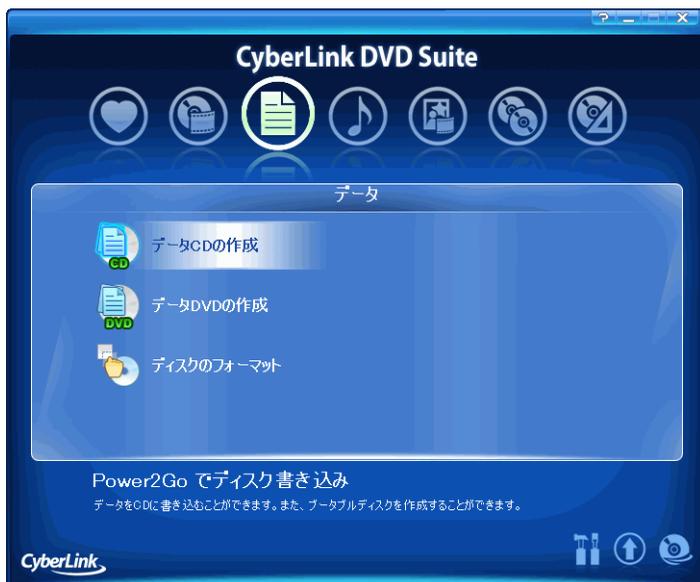
技術情報

この情報は、DVDを楽しむためのさまざまな情報を求めているユーザーに役立ちます。

第 3 章 :

データ

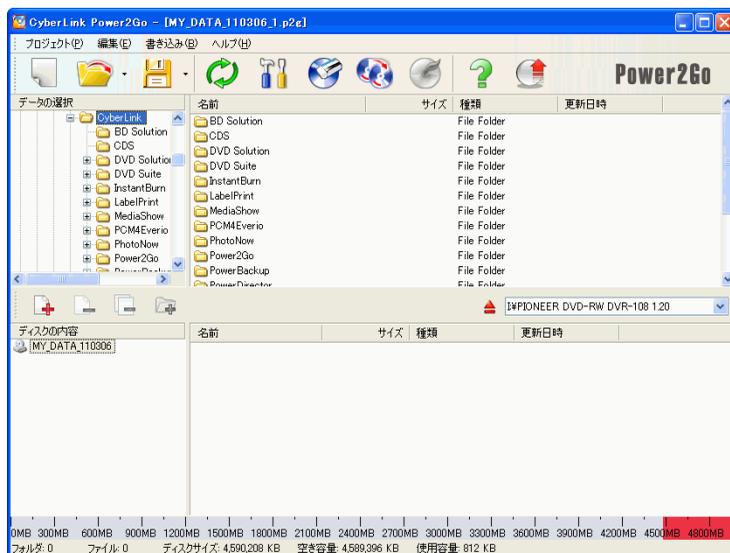
CyberLink DVD Suite には、CyberLink Power2Go によるデータディスク作成をはじめとした、いろいろな書き込み機能が用意されています。CD や DVD への書き込みのほか、ブータブル CD や DVD の作成もできます。CyberLink InstantBurn で使用するディスクをフォーマットすることもできます。



データディスクの書き込み

データディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、作成するデータディスクのタイプを選択します。
2. データディスクウィンドウで、使用する書き込みドライブをドロップダウンボックスから選択します。



3. 書き込むファイルやフォルダをハイライトし、書き込み先ディスクにドラッグするか、をクリックします。
 - ファイルを削除するには、対象をハイライトし、をクリックします。
 - すべてのファイルを削除するには、をクリックします。
 - ディレクトリに新しいフォルダを作成するには、をクリックします。現在のディレクトリの中にフォルダが作成されます。

- 書き込むコンテンツをすべて追加したら、 をクリックします。設定ウィンドウが開き、**【書き込み】** タブが表示されます。ここで、書き込みの設定を行います。
- 必要な設定を行ったら、**【書き込み】** をクリックします。CyberLink Power2Go により、ディスクへの書き込みが行われます。
- 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。
 - メインウィンドウに戻るには **[OK]** をクリックします。
 - ディスクのラベルを印刷するには **【ラベルを印刷します】** をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。61 ページの「ラベルを印刷する」を参照してください。
 - 書き込みログを参照するには、**【ログを表示します】** をクリックします。

ブータブルデータディスクのイメージファイルからの書き込み

イメージファイルからブータブルデータディスクを書き込むには、次の操作を行います。

- CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、作成するデータディスクのタイプを選択します。
- データディスクウィンドウで書き込むファイルやフォルダをハイライトし、書き込み先ディスクにドラッグするか、 をクリックします。

注: ブータブルディスクは、別のデータと一緒に書き込むこともできます。

-  をクリックします。設定ウィンドウが開き、**【データ】** タブが表示されます。
- 【ブータブルディスクの作成】** オプションを選択します。

5. **【ブータブルイメージファイルを使用する】** オプションを選択します。**【参照】** をクリックし、ブータブルディスクのパーティションを探します。**【OK】** をクリックします。
6. **【書き込み】** をクリックします。CyberLink Power2Go により、ディスクへの書き込みが行われます。
7. 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。
 - メインウィンドウに戻るには **【OK】** をクリックします。
 - ディスクのラベルを印刷するには **【ラベルを印刷します】** をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。61 ページの「ラベルを印刷する」を参照してください。
 - 書き込みログを参照するには、**【ログを表示します】** をクリックします。

ブータブルデータディスクのフロッピーディスクからの書き込み

ブータブルフロッピーディスクからブータブルデータディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、作成するデータディスクのタイプを選択します。
2. データディスクウィンドウで書き込むファイルやフォルダをハイライトし、書き込み先ディスクにドラッグするか、 をクリックします。

注：ブータブルディスクは、別のデータと一緒に書き込むこともできます。

3.  をクリックします。設定ウィンドウが開き、**【データ】** タブが表示されます。
4. **【ブータブルディスクの作成】** オプションを選択します。

5. **【 起動可能なフロッピーディスクを使用する 】** オプションを選択します。
6. **【 書き込み 】** をクリックします。起動可能なフロッピーディスクを挿入するように求めるプロンプトが表示されます。
7. フロッピーディスクを挿入し、**【OK】** をクリックします。CyberLink Power2Go により、ディスクがコピーされます。コピー処理が終わったら、ディスクドライブが開き、ターゲットディスクを挿入するように求めるプロンプトが表示されます。
8. ターゲットディスクを書き込みドライブに挿入し、**【OK】** をクリックします。
9. CyberLink Power2Go により、ディスクへの書き込みが行われます。
10. 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。
 - メインウィンドウに戻るには **【OK】** をクリックします。
 - ディスクのラベルを印刷するには **【ラベルを印刷します】** をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。61 ページの「ラベルを印刷する」を参照してください。
 - 書き込みログを参照するには、**【ログを表示】** をクリックします。

ディスクのフォーマット

CyberLink InstantBurn を使用すると、データをフォルダ単位やファイル単位でディスクにドラッグ&ドロップするだけで、フロッピーなどのリムーバブルメディアに書き込むような手軽さで CD や DVD に書き込めます。ディスクがいっぱいになるまで書き込むことができ、いらぬファイルやフォルダをゴミ箱に入れて削除することもできます。

データを CD や DVD にドラッグ&ドロップする前に、ディスクをフォーマットする必要があります。CyberLink InstantBurn はパケット書き込みのソフトウェアですので、ディスクは UDF(Universal Disc Format) 形式でフォーマットします。

注：InstantBurn でフォーマットしたディスクは、CyberLink Power2Go などのほかの書き込みソフトウェアで使用することはできません。

ディスクのフォーマット

CyberLink InstantBurn で使用するディスクをフォーマットするには、次の操作を行います。

1. フォーマットしていない空のディスクをドライブにセットします。
2. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **【ディスクのフォーマット】** を選択します。InstantBurn ウィンドウが表示されます。
3. フォーマットするディスクをセットしたドライブを選択し、**【次へ】** をクリックします。
4. **【プロパティ】** をクリックして、ディスクのプロパティを確認します。内容が正しければ、**【次へ】** をクリックします。
5. ボリュームラベルを入力して、**【完了】** をクリックします。ボリュームラベルはディスクのフォーマット後に変更できます。

注：ボリュームラベルは最大 11 文字となります。また、スペースは使用できません。DVD をフォーマットする際にも、UDF バージョンを選択できます。Version 1.50 が最もよく使われているものであり、この設定を変える必要はありません。

6. 確認のプロンプトが表示されたら、**[OK]** をクリックしてフォーマットを開始します。

InstantBurn の使用

始める前に、**InstantBurn** アイコンが画面右下のシステムトレイに表示されていることを確認します。

 - CyberLink InstantBurn が実行されていますが、ドライブにディスクがセットされていないか、セットされているディスクをフォーマットする必要があります。

 - CyberLink InstantBurn が実行されており、すぐに使用できます。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ディスクへの書き込み

注：フォーマットした RW ディスクに書き込めるデータの量は、ディスクの物理的な容量よりも少なくなります。たとえば、650 MB の CD-RW には 530 MB のデータを、4.7 GB DVD-RW/+RW には 4.3 GB のデータを書き込めます。DVD-RAM に書き込む場合は、さらに少なくなります。

1. **【マイ コンピュータ】**を開いて、コピー先のディスクドライブアイコンを表示します。
2. コピーするファイルやフォルダを表示する別のウィンドウを開きます。ステップ 1 で開いたウィンドウにかぶっていないことを確認してください。
3. ウィンドウのファイルやフォルダをクリックし、ディスクドライブアイコンにドラッグします。ファイルやフォルダが

ディスクにコピーされます。コピーされるデータが小さい場合、コピーウィンドウは表示されません。

4. コピー処理が終了したら、ディスクドライブアイコンをダブルクリックして開き、ファイルが正しくコピーされているかどうか確認します。

サポートされるディスク

Instant Burn 5.0 では、書き換え可能なメディア、および1回限りの書き込みに対応した特定のメディアがサポートされています。使用できるのは、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM ディスクです。

第 4 章：

音楽

音楽機能を使用すると、CyberLink Power2Go を使用して音楽ファイルを CD や DVD に書き込むことができます。また、音楽 CD からハードディスクに音楽をリッピングすることもできます。書き込む音楽ファイルの形式によっては、再生に特別なプレイヤーや再生ソフトウェアが必要となる場合があります。



音楽ディスクの作成

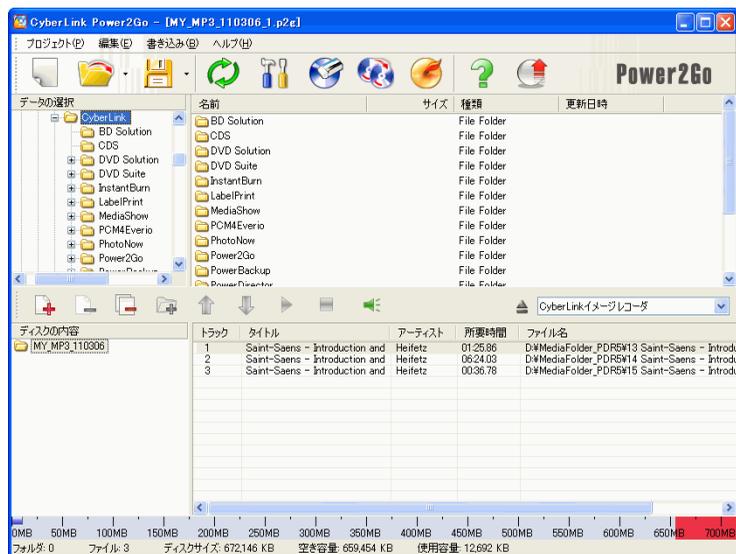
CyberLink Power2Go を使用すると、音楽ディスクを簡単に作成できます。通常の CD プレイヤーで再生できる音楽 CD も、MP3 や WMA ファイルを書き込んだ CD や DVD も作成することができます。すべて同じ作成手順で、異なるディスクを作成できます。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

音楽ディスクの書き込み

音楽ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、作成するディスクのタイプを選択します。
2. CyberLink Power2Go ウィンドウで、使用する書き込みドライブをドロップダウンボックスから選択します。



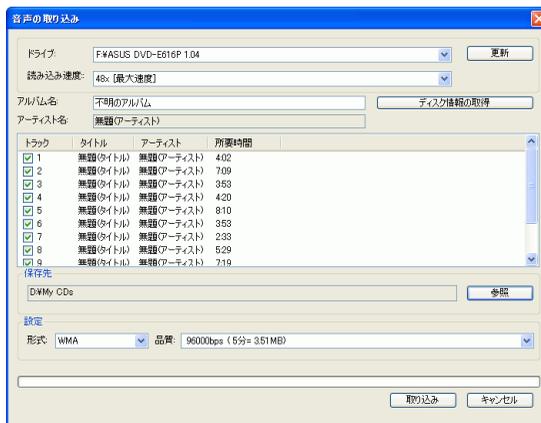
3. 追加するファイルを左のディレクトリから探します。書き込むファイルを右側でハイライトし、ウィンドウ下部の一覧にドラッグするか、 をクリックします。
 - ファイルを削除するには、対象をハイライトし、 をクリックします。
 - すべてのファイルを削除するには、 をクリックします。
 - 一覧のファイルの順番を変えるには、対象をハイライトし、 または  をクリックします。
 - ファイルを書き込み前に再生してみるには、対象をハイライトし、 をクリックします。 をクリックすると停止します。
4. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、 をクリックします。設定ウィンドウが開き、**【書き込み】** タブが表示されます。
5. 必要な書き込み設定を行ったら、**【書き込み】** をクリックします。CyberLink Power2Go により、ディスクへの書き込みが行われます。
6. 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。
 - メインウィンドウに戻るには **[OK]** をクリックします。
 - ディスクのラベルを印刷するには **【ラベルを印刷します】** をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。61 ページの「ラベルを印刷する」を参照してください。
 - 書き込みログを参照するには、**【ログを表示します】** をクリックします。

音楽のリッピング

音楽のリッピング機能を使用すると、音楽 CD からオーディオトラックを MP3、WAV、WMA 形式でハードディスクに取り込みます。

音楽ファイルをハードディスクにリッピングするには、次のようにします。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで [音声の取り込み] をクリックします。
2. 音声の取り込みウィンドウが開いたら、ディスクをセットしてドライブを選択します。



- ディスクを変えたり別のドライブを選択しなおしたりした場合は、[更新] をクリックして、表示内容が最新状態になるようにします。
3. ハードディスクにリッピングするオーディオトラックを選択します。
 4. リッピングするオーディオトラックを保存するフォルダを選択します。
 - オーディオの形式や品質は、必要に応じて変更できます。

5. **【取り込み】**をクリックして開始します。CyberLink Power2Goでは、処理状況がリアルタイムで表示されます。処理が終了すると、ステータスを通知するメッセージが表示されます。

第 5 章：

ムービーディスクの作成と編集

CyberLink DVD Suite のムービーディスクの作成と編集機能を使用すると、さまざまなソースからのビデオコンテンツのキャプチャや CyberLink PowerProducer を使った DVD や VCD の作成など、多様な作業を行えます。また、CyberLink PowerDirector Express を使用した簡単な動画編集作業や、CyberLink PhotoNow! を使用した静止画の編集、CyberLink Medi@Show を使用したすばらしいスライドショーの作成も行えます。



ムービーディスクの作成

CyberLink PowerProducer を使用すると、デジタルビデオ作成を完了して、ディスクに書き込むことができます。まるでプロが作るようなディスクを作成するために必要なすべての機能に、簡単にアクセスできます。

注：次に説明する手順に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ディスク形式の選択

ムービーディスクを作成するには、まず使用するディスクの形式を選択します。ディスクの形式は、使用するディスクドライブの種類、作成するビデオの長さや画質、再生に使用する機器を考慮して決めます。

CyberLink PowerStarter ウィンドウで、次の形式を選択することができます。

- **DVD:** 長時間の高品質のビデオを作成するのに適しています。(DVD 書き込みドライブが必要です。)
- **VCD:** 低品質のビデオまたはスライドショーを作成するのに適しています。
- **SVCD:** DVD のようなメニューを持つ中品質のビデオを作成するのに適しています。

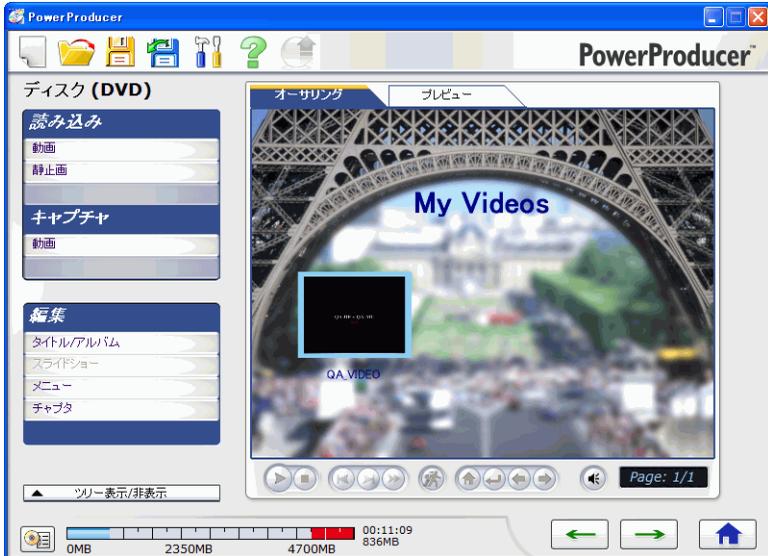
CyberLink PowerStarter ウィンドウでディスクの種類を選択すると、自動的にコンテンツのウィンドウに移動し、コンテンツのキャプチャや読み込みの処理を始めることができます。

メディアのキャプチャ / 読み込み

ビデオ作品を作るには、まずビデオコンテンツを取得する必要があります。CyberLink PowerProducer にインポートすればよいだけのデジタルファイルをもう持っていることもあります。アナログやデ

デジタルの生ソースからキャプチャしなければならない場合もあります。

インポートとキャプチャの機能は、コンテンツウィンドウにあります。



次の操作を行えます。

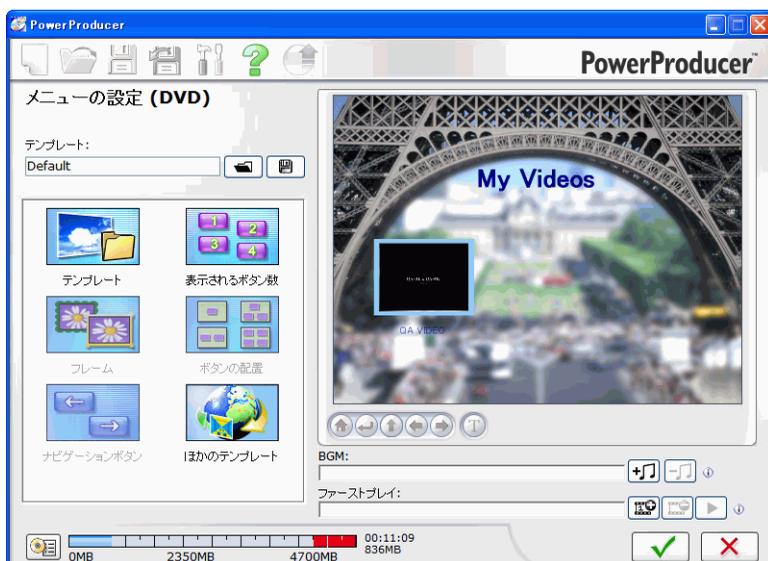
- ビデオファイルの読み込み
- 静止画ファイルの読み込み
- DV カメラからのキャプチャ
- TV からのキャプチャ
- ビデオからのキャプチャ
- PC カメラからのキャプチャ
- デジタルカメラからのキャプチャ

コンテンツを読み込んだら、CyberLink PowerDirector Express を使用して簡単な編集を行えます。詳細は、39 ページの「ビデオ編集」をご覧ください。

ディスクのメニューページのカスタマイズ

メニューを使用して、完成したディスクをナビゲートします。メニューの変更ウィンドウを使用すると、メニューページの外観を自由にカスタマイズできます。たとえば、ボタンや文字、全体的なレイアウトを変更できます。

メニューの変更ウィンドウを開くには、ディスクウィンドウの[編集]タイトルの下にある[メニュー]をクリックします。



次の操作を行えます。

メニューページの設定

メニューテンプレートや背景画像、ボタンのレイアウト、スタイル、フレームを選択して、メニューページをカスタマイズできます。

メニューテキストの変更

メニューページに表示するテキストをカスタマイズできます。たとえば、フォントのプロパティを変更できます。

BGM の設定

メニューページに BGM を設定して、ページが表示される際に演奏されるようにできます。

ファーストプレイ動画クリップの設定

ファーストプレイに指定したクリップは、コンピュータにディスクが挿入されると、メニューページが表示される前に再生されます。ファーストプレイにはナビゲーションボタンを付けることはできず、また早送りすることもできません。プロの作品では、ファーストプレイは一般に著作権情報や警告の表示に使われますが、個人的な作品では、自己紹介や、何か別の動画クリップの表示に使用してかまいません。

チャプタの作成

チャプタを使用すると、ディスクのナビゲーションを簡単に行えます。ディスクにチャプタを作成しておけば、再生時にメニューページからチャプタにジャンプでき、途中のコンテンツをスキップすることができます。チャプタは、作成しなくてもかまいません。チャプタを作成しない場合、ディスクをプレーヤーに挿入すると自動的にムービーが再生されます。CyberLink PowerProducer では、自動的にチャプタを作成することも、手動でチャプタを作成することもできます。

書き込みの設定

CyberLink PowerProducer には作品の完成方法がいくつか用意されており、状況によって使い分けることができます。製作の仕上げとして、作品をディスクに書き込んだり、ディスクイメージとして保存

したり、ハードディスクに DVD フォルダを作成してメディアファイルを整理事たりできます。



使用する書き込みドライブやディスクによっては、これらの処理を同時に実行できます。

ビデオ編集

ビデオを編集したり、トランジションやタイトルを追加したりして、より洗練されたビデオを作製できます。CyberLink PowerDirector Express には、ビデオを仕上げるために必要なさまざまなツールが用意されています。

ビデオを編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで **【動画の編集】** を選択します。



注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

使用できる編集オプション

編集とは、次のようなさまざまな機能を意味しています。

- **クリップの分割**：メディアクリップを、タイムラインスライダの現在の位置で2つに分割できます。

- **トリム** : 外部キャプチャデバイスでキャプチャしたビデオには、不要な部分が先頭やシーン間、または末尾に含まれることがよくあります。このような不要部分は、CyberLink PowerDirector のトリム機能を使用すると簡単に削除できます。
- **ビデオクリップの静止画スナップショットをとる** : ビデオクリップの単一フレームをキャプチャして、自動的にこのスナップショットをライブラリにロードできます。
- **ビジュアルメディアクリップの色を変更する** : ビデオや静止画クリップやカラーボードの色属性を変更して、劇的な効果を出したり、リアリティを強調したりすることができます。
- **ビデオクリップのインターレース形式を設定する** : ビデオクリップにはかならずインターレース (TV) 形式があり、これによってフレームがどのように表示されるかが決まります。矛盾する (正しくない) TV 形式のビデオクリップを使用すると、作品のビデオ品質が低下します。
- **音声ミキシングルームで音声レベルをミキシングする** : 音声ミキシングルームの音声ミキサーを使用すると、作業領域にある音声クリップの音声レベルを厳密に調整することができます。
- **音声クリップにフェード効果を追加する** : 音声クリップにフェードイン/フェードアウト効果を適用して、ビデオに効果的なサウンドトラックをつけることができます。

Magic ツールの使用

CyberLink PowerDirector の Magic ツールを使用すると、音声、ビデオ、静止画クリップをより効果的に演出できます。Magic Tool を使用すると、次のことができます。



静止画クリップに Magic Clean を実行する : 静止画クリップに

CyberLink PowerDirector の Magic Clean を適用すると、画像がより鮮明になります。

 **ビデオクリップに Magic Clean を実行する:** ビデオクリップに CyberLink PowerDirector の Magic Clean を適用すると、ビデオ出力がより鮮明になるように自動的に調整されます。

 **音声クリップに Magic Clean を実行する:** Magic Clean には CLNR (CyberLink Noise Reduction) 技術が使用されており、音声出力の質が向上します。

 **Magic Cut:** Magic Cut は、長いビデオセグメントを短いクリップにする際に役立ちます。たとえば、1 時間のビデオを 10 分に編集するような場合に便利です。

 **Magic Fix:** CyberLink PowerDirector の Magic Fix を使用すると、手ぶれしたビデオやピンボケの写真、赤目を修整できます。

 **Magic Style:** CyberLink PowerDirector の Magic Style を使用すると、クリップを完成したムービーに変換できます。

効果の追加

CyberLink PowerDirector を使用すると、ホームビデオにさまざまな効果を追加できます。

 **トランジション効果:** ムービーにトランジション効果を追加して、より洗練されたものにできます。

 **タイトルエフェクト:** テキストや画像を追加して、クリエイティブなタイトルを作成できます。

ムービーの制作

編集処理が完了したら、ムービーに最終的な制作処理を行えます。プロダクションウィザードのいくつかの簡単な操作で、ばらばらだったムービーのパーツがさまざまな形式のムービーファイルにま

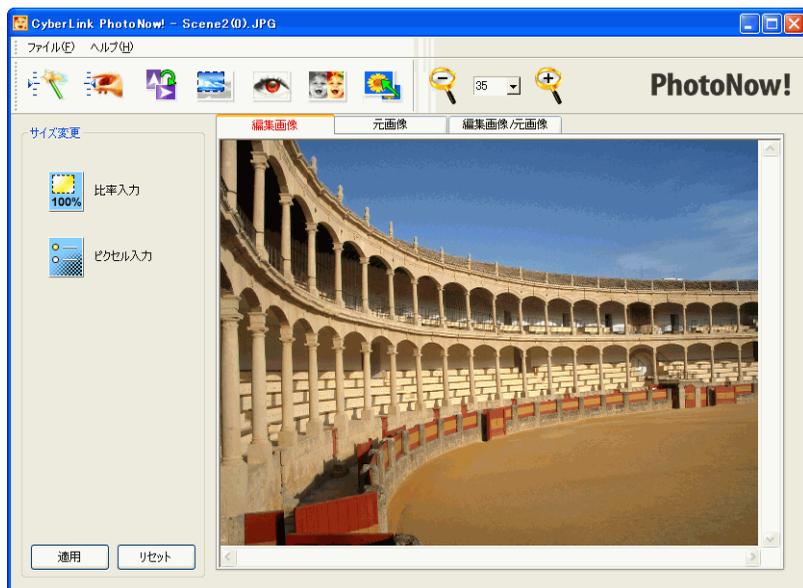
とめられ、再生したり、友達と楽しんだり、ディスクに焼いたりできるようになります。

CyberLink PowerDirector でムービーを作成するには、 をクリックしてプロダクションウィザードの指示に従います。

静止画編集

CyberLink PhotoNow! を使用すると、静止画の輝度やコントラストを調整したり、赤目を修正したりできます。

静止画を編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで【**静止画の編集**】を選択します。



PhotoNow! の機能には、次のようなものがあります。

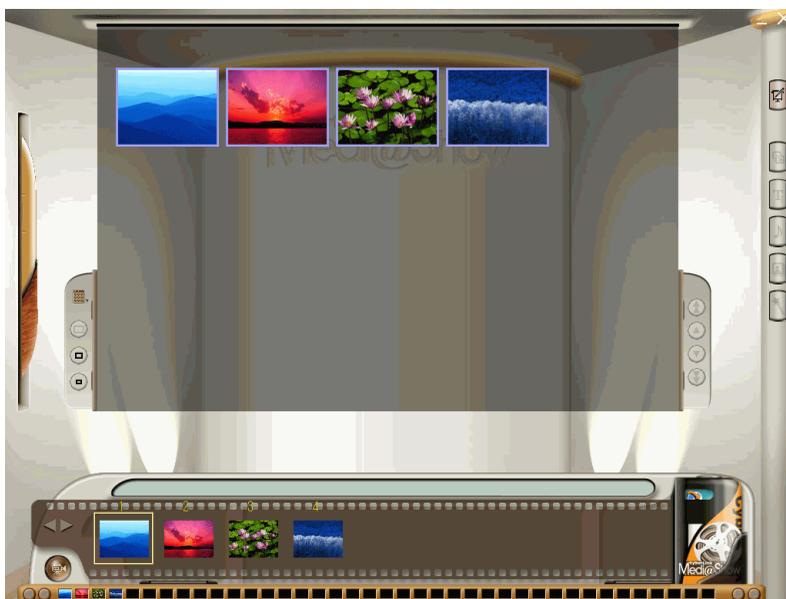
- レベル、コントラスト、均等化の自動調整
- 輝度、コントラスト、サチュレーション、鮮明さの手動調整
- 赤目の自動および手動修正
- トリミング、サイズ変更、回転機能
- カスタマイズした特殊効果

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

スライドショーの作成

CyberLink Medi@Show を使用すると、手持ちの写真を使ってすばらしいスライドショーを簡単に作成できます。フィルムウィザードを使用した簡単な操作で、インポートし、BGMを設定し、再生設定を指定できます。

スライドショーを作成するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで【スライドショーの作成】を選択します。



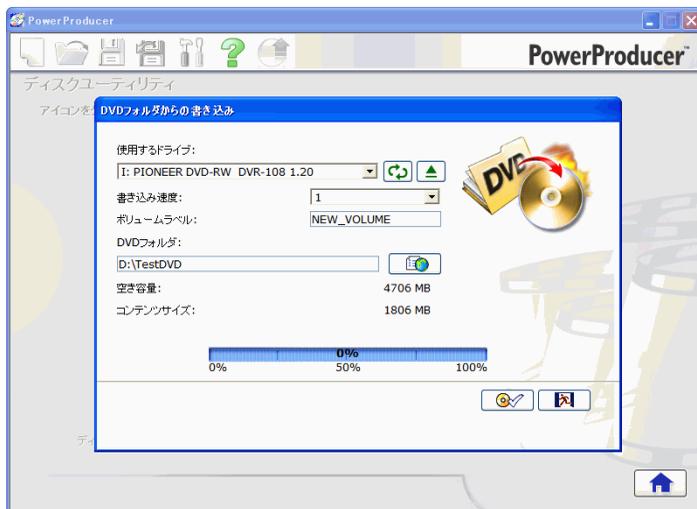
注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

DVD フォルダの書き込み

DVD フォルダが作成済みであれば、このフォルダをディスクに書き込んで保存できます。

DVD フォルダを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[DVD フォルダの書き込み]** を選択します。



2. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
 -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。
 -  をクリックして、ドライブの扉を開けます。
3.  をクリックし、書き込むフォルダを選択します。
4.  をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

注：このプログラムに関する詳細は、製品に付属のヘルプファイルを参照してください。

第 6 章：

コピー & バックアップ

CyberLink DVD Suite を使用すると、CyberLink Power2Go でデータ CD や DVD を簡単にコピーできます。また、CSS 保護されていない DVD ビデオは、CyberLink PowerDVD Copy でコピーできます。さらに、CyberLink PowerBackup を使用すると、データをすべてバックアップし、必要に応じてリストアすることもできます。



データディスクのコピー

ディスクコピーオプションでは、ディスク形式を問わず、コピーを作成できます。ただし、コピー元とコピー先のディスクは同じ形式でなくてはなりません。たとえば、CDの内容をDVDにコピーすることはできません。

注：書き込み保護されていたり、エラーのあるディスクは、コピーできない場合があります。

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、コピー元となるデータディスクのタイプ（CDかDVD）を選択します。
2. ディスクコピーウィンドウで読み込みドライブと書き込みドライブを選択します。



3. 読み込み速度と書き込み速度を選択し、作成するコピーの枚数を入力します。
 - エラーが発生した場合でもディスクをコピーするには、**【読み込みエラーを無視】**を選択します。
 - ディスクに書き込む前にシミュレーションを行うには、**【シミュレーション書き込みを行う】**を選択します。
4. **【コピー】**をクリックします。CyberLink Power2Goにより、コピーしたデータがディスクに書き込まれます。

ムービー DVD のコピー

CyberLink PowerDVD Copy は、DVD ムービーをディスクやハードドライブからバックアップ DVD にコピーするための専用ツールです。DVD フォルダをハードドライブに作成したり、ムービーとして DVD に書き込んだりできます。選びやすいオプションや、シンプルなインターフェイスにより、DVD コピー操作を簡単に行えます。

ムービー DVD をコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[DVD-Video のコピー]** を選択します。
2. CyberLink PowerDVD Copy ウィンドウで、コピーするムービー DVD のビデオソースを選択します。



3. ムービー DVD のコピー先を選択します。
4. すべてのコンテンツをコピーしない場合、 ボタンをクリックして、コピーする DVD のコンテンツを選択します。

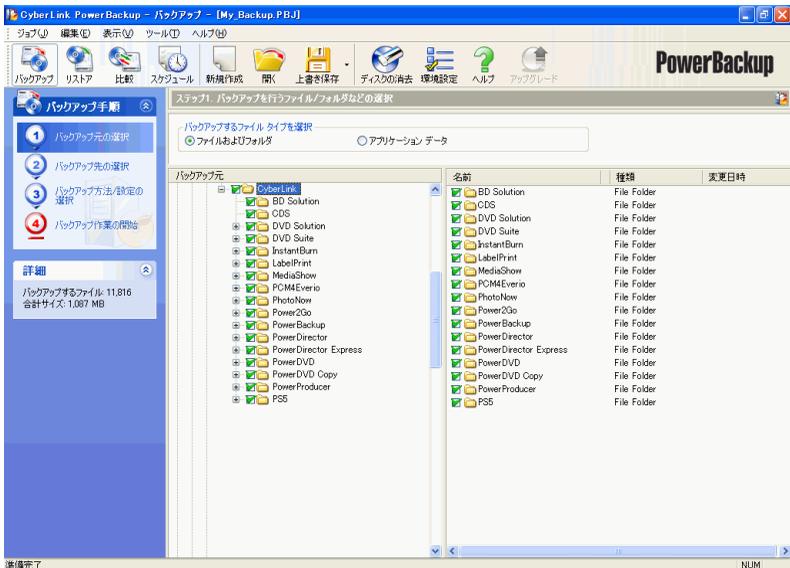
5. をクリックします。 CyberLink PowerDVD により、ムービーがディスクに書き込まれます。

データのバックアップとリストア

データのバックアップはセキュリティにおける重要な作業のひとつです。これにより、災害やディスクエラーの発生時、またハッカーやウイルスによる攻撃を受けた場合などに、膨大な時間と費用を節約することができます。重要なデータを別の媒体にバックアップしておけば、データを元の状態にすみやかに戻すことができます。

データのバックアップ

データをバックアップするには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで【データのバックアップ】を選択し、次の操作を行います。



ステップ 1 - バックアップ元の選択

バックアップウィンドウにある 2 つのファイルディレクトリウィンドウで、バックアップするファイルやフォルダを探して選択します。2 つのウィンドウは Windows Explorer と同じように機能します。バックアップするファイルの種類に応じて、ディレクトリウィンドウの上にある [ファイルおよびフォルダ] または [アプリケーションデータ] を選択します。

ステップ 2 - バックアップ先の選択

[バックアップ先の選択] をクリックし、バックアップ先を選択します。

- **バックアップ先**: ドロップダウンボックスでバックアップ先を選択します。使用できるハードウェア環境によっては、バックアップ先として、ハードディスクやディスクの書き込みドライブも選択することができます。
- **バックアップファイル名**: バックアップファイルに一意的な名前をつけます。バックアップファイルを別のディレクトリに保存するには [参照] をクリックし、使用するフォルダを選択します。
- **リストアツールを含む**: 実行可能 (.exe) ファイルを作成して、PowerBackup プログラムがインストールされていないコンピュータでもデータを復元できるようにする場合、これを選択します。
- **バックアップファイルの分割設定**: バックアップファイルを指定したサイズに分割します。

ステップ 3 - バックアップ方法 / 設定の選択

[バックアップファイルの分割設定] をクリックし、バックアップ方法を選択します。必要に応じて、詳細なオプションも指定します。

- バックアップ方法には、[すべてバックアップする]、[差分をバックアップする]、[増分をバックアップする] があります。

- さらに詳細なオプションを設定するには、**【環境設定】**をクリックします。

注：このプログラムの機能は購入された製品のバージョンによって異なるため、一部の機能をご利用になれない場合があります。

ステップ 4 - バックアップ作業の開始

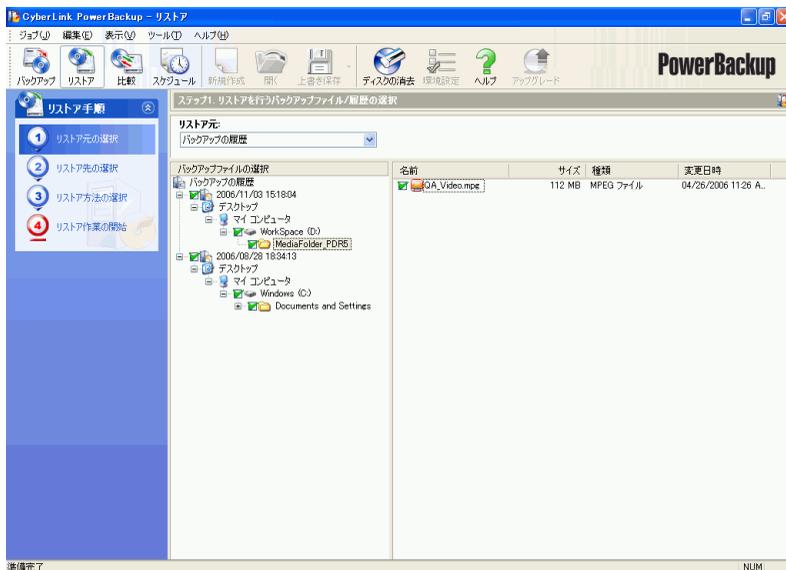
【バックアップ作業の開始】をクリックします。設定が正しいことを確認してから、次のいずれかのボタンをクリックしてバックアップを開始します。

- すぐにバックアップするには、**【バックアップの開始】**をクリックします。
- あとでバックアップするようにスケジュールするには、**【スケジュールに追加】**をクリックします。

注：このプログラムの機能は購入された製品のバージョンによって異なるため、一部の機能をご利用になれない場合があります。

データのリストア

データをリストアするには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[データのリストア]** を選択し、次の操作を行います。



ステップ 1 - リストア元の選択

リストアウィンドウで **[リストア元]** ドロップダウンボックスでリストアするソースを選択します。

- **バックアップファイル**: 既存のバックアップファイルからリストアします。バックアップファイルを開くには **[参照]** をクリックし、使用するファイルを検索して開きます。
- **バックアップの履歴**: 以前のバックアップ作業の記録からリストアします。[バックアップの履歴] からレコードを削除するには、**[編集]** > の **[バックアップの履歴を削除]** または **[バックアップの履歴をすべて削除]** コマンドを使用します。

- ディスクドライブ：ディスクからリストアします。ソースを選択したら、リストアするファイルを選択します。

ステップ 2 - リストア先の選択

【リストア先】をクリックし、リストア先を選択します。

- **オリジナルのファイルパス**：ファイルがバックアップされた際にあつた元の場所にリストアします。
- **特定のファイルパス**：新しい場所にリストアします。新しいディレクトリを設定するには**【参照】**をクリックし、使用するフォルダを検索して開きます。
- **特定のファイルパス（フォルダ構成を保持しない）**：バックアップしたファイルすべてを、単一の新しいディレクトリにリストアします。新しいディレクトリを設定するには**【参照】**をクリックし、使用するフォルダを検索して開きます。

ステップ 3 - リストア方法の選択

【リストア方法の選択】をクリックし、リストア方法を選択します。

- **上書きしない**：ハードドライブにないファイルのみをリストアし、既存のファイルは上書きしません。
- **新しいファイルのみ上書きする**：バックアップコピーのほうが新しい場合、ハードドライブにあるファイルを上書きします。
- **常にファイルを上書きする**：いかなる場合もバックアップコピーでハードドライブにあるファイルを上書きします。
- **上書きに関する確認を表示する**：どのファイルを残すかたずねるプロンプトを表示します。

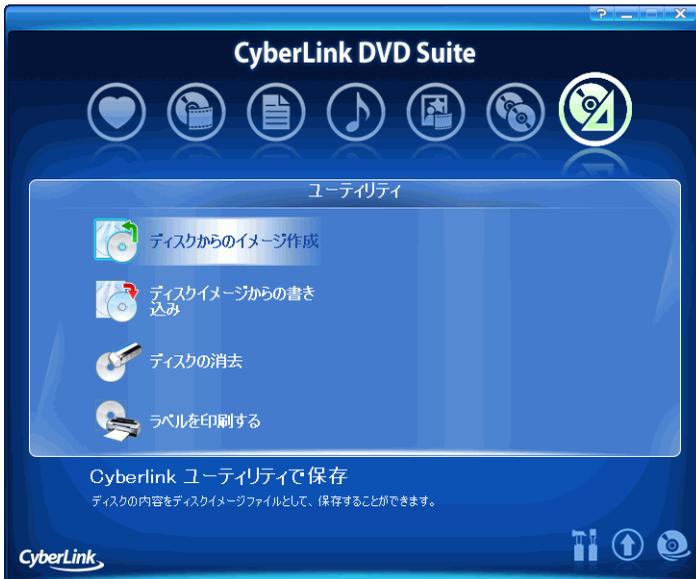
ステップ 4 - リストア作業の開始

[**リストア作業の開始**] をクリックし、設定が正しいことを確認します。すぐにリストアするには、[**リストアの開始**] をクリックします。

第7章：

ユーティリティ

CyberLink DVD Suiteにはたくさんの便利なディスクユーティリティが付属しており、ディスクイメージを作成して書き込んだり、書き換え可能なディスクに保存したデータが不要になったときに消去したりできます。また、ディスク作成の仕上げとして、CyberLink LabelPrint を使用して美しいラベルを作成し印刷することもできます。



ディスクからのイメージ作成

ディスクイメージを作成してハードディスクに保存すると、コンピュータのバックアップをあとでディスクに書き込むときに便利です。

ディスクイメージを保存するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **【ディスクからのイメージ作成】** を選択します。
2. ディスクをセットし、必要に応じてディスクからのイメージ作成ウィンドウの **【読み込みドライブ】** ドロップダウンボックスでソースを指定します。



3. **【書き込みドライブ】** 入力ボックスに保存先のフォルダとディスクイメージファイル名を入力するか、**【参照】** をクリックしてフォルダを選択しディスクイメージファイル名を入力します。
4. **【保存】** をクリックしてディスクイメージを保存します。

ディスクの消去

書き換え可能なディスクを使用している場合、以前書き込んだコンテンツを消去できます。これにより、1枚のディスクを何度も使用でき、ディスクを買わなくても済みます。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **【ディスクの消去】** を選択します。
2. ディスクを挿入して、ディスクの消去ウィンドウで書き込みドライブを選択します。



3. 消去方法を選択します。
 - **【標準消去】** オプションでは、ディスクのコンテンツすべてを消去します。
 - **【高速消去】** オプションでは、ディスクのインデックスを消去します。
4. **【開始】** をクリックして開始します。処理が終了すると、ステータスを通知するメッセージが表示されます。

ラベルを印刷する

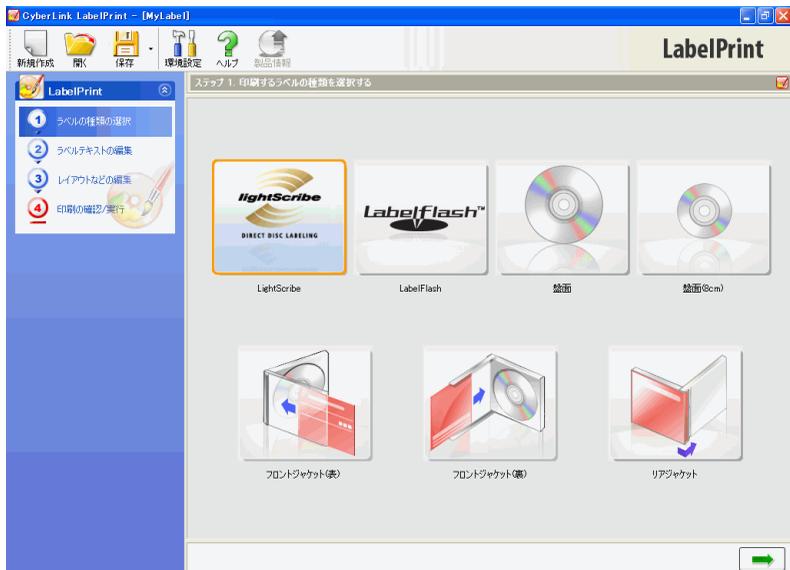
Cyberlink LabelPrint にはさまざまなレイアウト形式が用意されており、また LightScribe と LabelFlash 技術を使用したディスクへの直接印刷をはじめとする多くの印刷オプションがサポートされています。

注：LightScribe ドライブおよびディスクには、LightScribe 機能を使用する必要があります。

注：LabelFlash ドライブおよびディスクには、LabelFlash 機能を使用する必要があります。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ラベルを作成するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで [ラベルを印刷する] を選択します。



ステップ 1 - ラベルの種類を選択

ラベル作成の第一歩は、印刷するラベルの種類を選択することから始まります。LightScribe ラベル、LabelFlash ラベル、ディスクラベル、ミニディスクラベル、フロントジャケット（表）、フロントジャケット（裏）、リアジャケットを選択できます。

ステップ 2 - ラベルテキストの編集

タイトルなどのディスク情報を追加または編集し、ディスクを識別できるようにします。また、コンテンツの情報を追加または編集し、ディスクに保存されているファイルがわかるようにします。この操作は、ラベルテキストの編集ページで行えます。

ステップ 3 - レイアウトなどの編集

レイアウトを選択し、フォントを変更し、カスタムの背景画像を使用して、より個性的なディスクラベルを作成できます。次の操作を行えます。

- ラベルのレイアウトの選択
- 背景画像の追加
- テキストの追加 / 変更

ステップ 4 - 印刷の確認 / 実行

CyberLink LabelPrint でラベルを印刷できます。印刷可能な対象は次のとおりです。

- **普通紙** : 使用するプリンタでサポートされている用紙すべてです。
- **ラベル用紙** : ラベル用の専用紙です。
- **ディスク** : 紙は不要ですが、LightScribe 専用の書き込みドライブとディスクが必要です。

第 8 章：

テクニカルサポート

この章では、テクニカルサポート情報を提供します。製品を使用する上で生じる疑問を解決するために役立つ情報を満載していますが、問題が生じたら、お近くの販売店にご連絡いただいてもかまいません。

この章には、次の節があります。

- 64 ページの「Web サイトによるサポート」

Web サイトによるサポート

問題解決のため、CyberLink Web サイトでは 24 時間ご相談を無料で承っています。

注：CyberLink の Web サイトでサポートを受けるには、まずメンバー登録を行う必要があります。

技術的な問い合わせフォーム

CyberLink の Web サイトのサポートセクションにある問い合わせフォームをご利用いただくと便利です。

<http://www.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp>

できるだけ詳細な情報をご連絡いただけますと、問題を解決しやすくなります。

全般的なサポート

ご利用可能なサポートの詳細については、CyberLink の Web サイトのサポートセクションをご覧ください。

<http://support.gocyberlink.com>

CyberLink の Web サイトでは、よくある質問と回答のほか、問題解決のテクニックや最新の製品情報などが提供されています。

索引

C

CD

音楽のリッピング 30

CLEV-2 17

CyberLink 製品ウィンドウ 7

D

DVD 34

再生 15

DVD プレーヤー 13

DV カメラ、キャプチャする 35

I

InstantBurn 62

InstantBurn の使用 25

サポートされるディスク 26

ディスクの消去 60

L

LabelPrint 61

LightScribe 62

M

Magic ツール 40

Medi@Show

スライドショーの作成 45

P

PC カメラ

キャプチャする 35

PhotoNow!

静止画編集 43

Power2Go

ディスクイメージからの書き込み 59

ディスクからのイメージ作成 58

ディスクをコピーする 48

データディスクの書き込み 20

音楽 CD のリッピング 30

音楽ディスクの作成 28

音楽ディスクの書き込み 28

PowerBackup

データのバックアップ 51

データのリストア 54

PowerDirector

Magic ツールの使用 40

ビデオの編集 39

効果の追加 41

PowerDVD 13

メインコントロール 14

再生コントロール 14

再生中のナビゲート 15

設定

ÉvÉçÉpÉeÉB 18

âfëú 17

オーディオストリーム 18

メニュー 16

オリジナルのファイルパスオプション 17

PowerDVD Copy

ムービーディスクのコピー 49

PowerProducer

DVD フォルダの書き込み 46

ディスクのメニューページのカスタマイズ 36

ムービーディスクの作成 34

メディアのキャプチャ/読み込み
35

書き込みの設定 37

PowerStarter プログラム 2

PowerStarter を起動する 6

S

SVCD 34

SVCD、再生 16

T

TV チューナ

キャプチャする 35

V

VCD 34

VCD、再生 16

あ

アップグレード

PowerStarter 6

あとでバックアップするようにスケ
ジュールする 53

う

ウェブカメラ

キャプチャする 35

お

オーディオストリーム

メニュー 15

切り替える 15

オーディオ CD、再生 16

オーディオトラック、ハードディス
クへのリッピング 30

オリジナルのファイルパスオプショ
ン 55

お気に入りから削除 3

お気に入りに追加 3

お気に入りメニュー 3

か

カメラ

キャプチャする 35

き

- キャプチャする
 - DV カメラから 35
 - PC カメラから 35
 - TV から 35
 - デジタルカメラから 35
 - ビデオから 35

く

- クイックアクセスボタン 5

こ

- コピー & バックアップメニュー 4
- コマ送り 15
- コンテンツを取得する
 - DV カメラから 35
 - PC カメラから 35
 - TV から 35
 - デジタルカメラから 35
 - ビデオから 35
- コントロールホイール 15

し

- システム条件 10
- シャトル 15
- ジャンプ 15

す

- スピーカ選択 18
- スライドショーの作成 45

た

- タイムサーチ 15

ち

- チャプタ
 - 設定 37
- チャプタを作成する 37

て

- ディスクイメージ
 - 書き込み 59
 - 保存する 58
- ディスクコピー 48
- ディスクのメニューページのカスタマイズ 36
- ディスクの消去
 - 手順 60
- ディスクメニューを変更する
 - テキストを編集する 36
- ディスクユーティリティ
 - ディスクイメージからの書き込み 59

- ディスクイメージの保存 58
- ディスクの消去 60
- 音楽のリッピング 30
- ディスクラベルを印刷する 61
- データのバックアップ 51
- データのリストア 54
- データメニュー 4
- デジタルカメラ、キャプチャする 35

と

- ドラッグ & ドロップによる再生 16

は

- バージョン表 8
- バックアップの履歴 54
- バックアップの履歴をすべて削除 54
- バックアップの履歴を削除 54
- バックアップファイルの分割設定 52

ひ

- ビデオ入力
 - キャプチャする 35
- ビデオ編集 39

ふ

- ファーストプレイ 37
- ファイルディレクトリウィンドウ 52
- ブックマークをつける 15
- フルスクリーン 15, 17
- フレームをキャプチャする 15

む

- ムービーDVDのコピー 49
- ムービーディスクの作成 34
- ムービーディスクの作成と編集メニュー 4
- ムービーの再生 14
- ムービープレーヤーメニュー 4

め

- メディアのキャプチャ / 読み込み 34
- メニュー
 - テキストを編集する 36
 - ファーストプレイ 37

ゆ

- ユーティリティメニュー 5

ら

ラベルを作成する 61

り

リストアツール 52

れ

レジューム
設定 17

印刷

使用可能なメディア 62

印刷に使用可能なメディア 62

音楽

ハードディスクへのリッピング
30

音楽のリッピング

手順 30

音楽メニュー 4

音声出力の設定 18

開く

ハードディスクのDVDファイル
16

環境パネル 14

効果 41

高速消去 60

再生

DVD 15

VCD、SVCD 16

オーディオ CD 16

ドラッグ & ドロップによる 16

ハードディスクのDVDファイル
16

ファイル 16

最新のバージョンを自動的にチェックする 6

字幕

表示する 15

書き込み

DVD フォルダ 46

ディスクイメージ 59

データディスク 20

ブータブルデータディスク

ÉCÉÁÁ[ÉWÉtÉ@ÉCÉãÇ©ÇÁ
21

ÉtÉçÉbÉsÁ[ÉfÉBÉXÉNC©ÇÁ
22

上書きしないオプション 55

上書きに関する確認を表示するオプション 55

常にファイルを上書きするオプション 55

新しいファイルのみ上書きするオプション 55

製品情報を取得する 6

静止画編集 43

設定

PowerStarter 5

特定のファイルパスオプション 55

特定のファイルパス（フォルダ構成を保持しない）オプション 55

読み込み

静止画ファイル	35
動画ファイル	35
標準消去	60
普通紙	62
編集する	
ディスクメニューのテキスト	36
用紙テンプレート	62